

2025年4月7日

なかのアセットマネジメント株式会社

## 基準価額が5%以上下落したファンドについて

当社の公募投資信託において、本日の基準価額が前営業日比で5%以上下落したファンドがございましたのでお知らせいたします。

### 1. 前営業日比5%以上下落したファンドの基準価額および騰落率

ファンド名	基準価額（円）	前営業日比（円）	騰落率（%）
なかの日本成長ファンド	8,333	-599	-6.71

### 2. 基準価額の主な下落要因について

#### 【国内株式指数】

指数	2025年4月4日	2025年4月7日	騰落率（%）
東証株価指数（配当込み）	4,319.10	3,982.55	-7.79

出所：Bloomberg

#### 【ファンドマネジャーからのメッセージ】

新年度入り後、トランプ大統領の相互関税措置に端を発して、株式市場が急落しています。注視していく必要があるものの、過度な懸念は不要と考えています。

米国政府が掲げるMAGA（米国を再び強くする）政策には、いくつかの課題が見られます。国内製造業の回帰を目指す一方で、移民制限による労働力不足が懸念されるなど、政策の実現には時間を要する可能性があります。高金利の環境下での米国の消費動向は慎重に見守る必要があります。関税の影響による物価上昇も、今後の経済に影響を与える可能性があります。

トランプ大統領の過去の言動からは、現在の政策的な課題に対する軌道修正を行う可能性は低いと推測されます。トランプ大統領自身も、自身の政策に対する批判を外部要因に転嫁する傾向が見られるため、世界的な株価下落についても同様の対応を取る可能性があります。

さて、当社の運用する「なかの世界成長ファンド」と「なかの日本成長ファンド」は、クオリティ・グロース投資を基軸としており、現在の不確実な市場環境下においても、相対的に堅調なパフォーマンスを示しています。具体的には、「なかの世界成長ファンド」は、米国株のアンダーウェイト戦略が奏功し、直近3カ月のパフォーマンス

ンスでインデックスを上回っています。また、「なかの日本成長ファンド」も、今月に入り本日までで TOPIX を 4%程度アウトパフォーマンスしています。

これらのファンドの投資先企業の堅牢なビジネスモデルや健全な財務状況が、株価の下落を抑制する要因となっています。直近の下落局面においては、手元資金を活用し、「なかの世界成長ファンド」では新ファンドを、また、「なかの日本成長ファンド」ではソニーなど過度に売られたと判断される保有銘柄を中心に、組入比率を調整しています。私たちは、市場の動向を冷静に分析し、長期的な視点での投資判断を行っています。一般的に市場の不透明感は1か月程度で改善しますし、こうした不確実性に投資家が慣れ始めるにつれて、株式市場は戻りを試す展開に移っていきます。早晩、相場が落ち着くにつれて株価は反発すると見えています。過去においても、歴史が示す通り、大恐慌を始めとする数々の経済危機を市場は乗り越えてきました。今回も同様です。

株価が景気悪化の可能性を織り込み始めたことで、長期的な視点で見ても、現在の株価水準は投資機会となり得る水準と考えています。毎月コツコツと積み立てていただいているお客様にとって、このような市場の変動はご心配の種かもしれません。しかし、現在の株価水準は、将来の成長の果実を十分に享受できる魅力的な水準にあると考えています。私たちは、お客様の長期的な資産形成をしっかりとサポートしてまいりますので、引き続き安心して積み立て投資を継続していただければ幸いです。

運用部長兼チーフポートフォリオマネジャー 山本 潤

以上

#### 【ご留意事項】

この資料は情報提供を目的として、なかのアセットマネジメント株式会社によって作成されたものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。

また、投資信託は銘柄ごとに設定された信託報酬等の費用がかかります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

#### 【投資信託に関するリスクについて】

##### 基準価額の変動要因

###### なかの日本成長ファンド

・ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。主な基準価額の変動要因は「価格変動リスク」「信用リスク」「流動性リスク」「集中投資リスク」などがあります。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

・信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。

###### なかの世界成長ファンド

・ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。主な基準価額の変動要因は「価格変動リスク」「信用リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク」「流動性リスク」などがあります。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

・信託財産に生じた利益及び損失は全て投資者の皆さまに帰属します。

**投資信託に関する費用について****投資者が直接的に負担する費用**なかの日本成長ファンド

- ・ 購入時手数料：ありません
- ・ 信託財産留保額：ありません

なかの世界成長ファンド

- ・ 購入時手数料：ありません
- ・ 信託財産留保額：ありません

**投資者が信託財産で間接的に負担する費用**

- ・ 運用管理費用(信託報酬)：

なかの日本成長ファンド

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に対して年率 1.1%(税抜き 1.0%)を乗じて得た額とします。

運用管理費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の 6 ヶ月終了日及び毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

なかの世界成長ファンド

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に対して、年率 0.605%(税抜き 0.55%)を乗じて得た額とします。

運用管理費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の 6 ヶ月終了日及び毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。

当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年率 1.3%±0.2%程度(税込)となります。

商号：なかのアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 3406 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会